



学校創立142周年

百年松

阿木名小中学校便り 令和4年8月22日発行

◇ 校訓「かしこく やさしく たくましく」
あ 明るく元気なあいさつができる子ども
ぎ ぎりぎりまであきらめず努力する子ども
な 仲よく笑顔いっぱいの子ども
 ~花いっぱい、元気いっぱい、笑顔あふれる阿木名っ子~



阿木名小中学校

充実していますか？

校長 井上 泉



長いと思っていた夏休みも、残り10日余りとなりました。元気な様子に一安心です。この休みの間に、多くの体験をしていることでしょう。

夏休みに入ってすぐに、夏の甲子園を出場をかけた「大島高校VS鹿児島実業高校」の決勝戦は見ものでしたね。9回裏2アウトからの大島高校の攻撃は、諦めない生徒たちの意地を感じました。試合終了後、大島高校の生徒たちの大粒の涙や、両エース（投手）が抱き合い健闘をたたえる姿は、より一層胸を熱くする思いでした。私は皆さんに、大島高校の生徒たちのように、何かに一生懸命取り組む体験をしてほしいと願います。結果よりもその過程が、皆さんの心を熱く・たくましく・優しくしてくれると信じているからです。2学期に何かしら、打ち込めるものを見つけてください。

さて、2学期のスタートに向け、事故やけがに十分注意するとともに、宿題や作品等も計画的に進めてください。また新型コロナウイルスの感染が収まらず、感染対策もしなければなりません。熱中症との狭間でマスク着用も難しいところがありますが、状況をよく見て感染対策に努めてください。9月1日(木)に元気に会いましょう！

保護者の皆様、残りの休みの中で、2学期に向けて生活リズムを整えスムーズに学校生活が送れるように、お願いします。

併せて、2学期も学校行事や子どもたちのためにご支援・ご協力をお願いします。



戦後77年・・・

今年は戦後77年。8月に入ると新聞でも多くのことが報道されます。8月1日(月)の出校日の日にも、戦争の話をしました。新聞やテレビで見ましたか。特に今年は中学校2・3年生が長崎に修学旅行へ行きましたので、興味深くみるのができたことでしょう。日本の広島と長崎は世界で唯一原爆の落とされた場所で、そのひとつ長崎を訪れ、その当時の悲惨な状況を学ぶことができました。

またテレビではロシアとウクライナの戦争の報道を目にします。人間同士が命を奪い合う行為の意図がまったく分かりません。絶対にあってはならないこと。どうにかできないものなのか・・・

下記の手紙は昨年も掲載したものです。

鹿児島に残る特攻資料館。数多くの若者が、国を守るためと飛び立っていきました。平和な時代に生きる私たちには、想像もできないことです。また、戦時中に伊須湾にもゼロ戦が不時着し、その不発弾が伊須湾に沈んでいた話も聞きました。その不発弾は、回収され伊須湾沖で爆破処理したとのこと。阿木名の方々の中にも、伊須湾に沈んでいた不発弾を目にした方もいらっしゃるはず。人ごと・他人事ではなく、2度と戦争が起こらない世界にするために、私たちは今一度真剣に歴史に目を向け、平和な社会・平和な毎日を見つめ直さなければならないと思います。

我が子へ

父恋しと思はば空を見よ

大空に浮かぶ白雲に乗りて

父は常に微笑みておかう

(特攻へ飛び立つ父が子どもへ宛てた手紙)

母へ

軍人の母として女々しきことのないように・・・

(特攻へ飛び立つ息子が母へ宛てた手紙)

家族へ

同封の大きい写真は黒縁用に使って下さい。(葬式用に)

(特攻へ飛び立つ息子が家族へ宛てた手紙)



